

経営改善の必要性強調

全道合同コグニ二会研修会 経営コンサル辻氏講演

板金塗装見積りシステム『コグニ』製品ユーザーで組織するコグニ会は14日、全道6地区による全道合同コグニ会を定山溪ビューホテルで開催。各地区メンバー約40人が参加した。本部からコグニビジョンの浦上英俊取締役、お客様サポート部の宮本剛部長、小俣健司課長らが出席、今回は札幌コグニ会(伊藤順一会長)が主催して研修会及び懇親会を実施した。

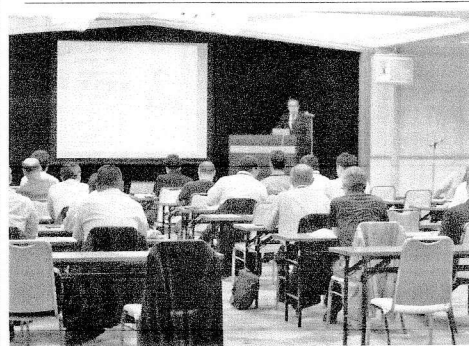
冒頭、伊藤会長は「当メンバーの売上に役立つ内容を検討し、我々BP事業者には不足がちな営業力に関する研修を企画した。待ちの商売から攻めの商売により厳しい環境を乗り越えたい。研修からヒントを掴んでほしい」と挨拶した。研修会では、経営コンサル辻の辻伸一社長が「全員営業コンサルテイングのススメ」と題し、

企業の経営力アップや営業力強化につながるヒントを紹介したほか、参加者の経営状況を簡単な質問からチェックして改善のポイントを解説した。辻社長は、自動車整備

及び板金塗装業を主体に「今までの営業が通じなくなっている」「技術サービスに自信はあるが営業で苦戦する」「営業を強化したいが社員と残業は増やせない」など問題を指摘、具体的な解決法を事例から紹介した。

を手掛けた辻社長は「人を増やさず営業力を上げるには、会社各部署に拘らず社員全員で顧客の情報を共有し、全社営業を推進する。経営者が視点を変え、1人のスパー営業マンに頼らない仕組みづくりを行うことが大切」と話し、業務の「余計」を増やさず「余力」を上げる経営改善が必要だと強調した。

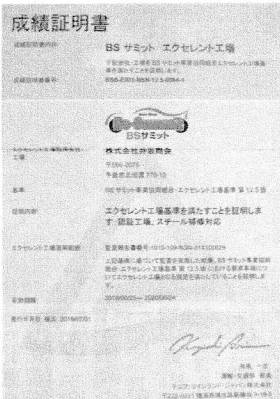
最後に10年以上続いている会社には年商で20〜50%の営業力『埋蔵金』が埋もれており、全社員を活用した見込み客への営業が儲かる企業への近道だと加えた。



得の目的と話す。同社は、取り引き先をはじめユーザー直需など月間100台超を処理しており、今回の認定を機に修理記録管理を徹底するほか、今後を見据え『方ロライナポイントX(イヤサカ札幌納め)』ボディ計測機を導入し現場のレベルアップを図っている。

『エクセレント認定』取得

井坂商会社内体制の再構築へ



1998年の『BSサミット』発当初に入会し21年が経過する井坂商会井坂好伸社長、千歳市はこのほど、BSサミット

時は、ディラーの仕事が8割に上ったが、その後内製化により徐々に減少している。現在は各損保会社の指定工場として入庫するほか、大手レンタカー会社との取り引きが屋台骨となっている。また、千歳地区は陸上と

これまでの修理とは異なる対応が求められている。いざいざにしても、現場で作業する技術者の意識改革が先決で、事故車の計測や修理過程、完成時の記録保管など正確な作業を遂行する仕組みを社内

「チャリティイベント」に191人
函館振北支部
両館地方自動車整備振興会北支部(山口勝彦支部長)は14日、会員と工場の社員らの交流を目的

とした「チャリティイベント」を、取引先企業の協賛(55社)・参加のもとホテル函館ロイヤルで開催、会員や社員など合わせて191人が出席し盛り上がった。パーティは今回が5回目の開催。同会が展開している定期点検促進企画の「クリーンEcoキャ

“チュリー” ぶり刷新 夕自動車

00年を記念して発売。以来50年にわたり『日本を代表するシヨウファー(専門の運転手)カー』として、角界の要人が愛用している。

得の目的と話す。同社は、取り引き先をはじめユーザー直需など月間100台超を処理しており、今回の認定を機に修理記録管理を徹底するほか、今後を見据え『方ロライナポイントX(イヤサカ札幌納め)』ボディ計測機を導入し現場のレベルアップを図っている。

伝統と品格を守りながら『華』を感じさせる外形デザインは、後席を上座とする独自の思想を造形、傾斜を立てた重厚なクォーターピラーにより後席の存在感を強調し、



新型『センチュリー』

御見舞い申し上げます

各種自動車 板金・塗装・車検・整備
保険代理店・中古・新車販売・レ、

株式会社 ホシボ
代表取締役 星

千歳市上長都一六〇

リサイクルパーツで 地球の未来を創造する

株式会社 ケーイー車輛

解体業許可番号 2001300087
破砕業許可番号 2001400087
産廃・特管収集運搬許可=道・札幌市

北海道運輸局長指定工場
全国チェーンの

アップル車検 栗山
栗山自動車整備株式

代表取締役 松原 由
常務取締役 山崎 中
夕張部栗山町湯地七二番地
TEL(0123)721-
FAX(0123)721-